



小笠原 良子
(日本共産党)

新型コロナウイルス感染者のための 宿泊療養施設の確保状況は

県が確保し 当地域は八戸市の施設を利用

議員 新型コロナウイルス感染者のために宿泊療養施設を確保しているのか。

健康福祉部長 県で宿泊療養施設を青森、八戸、弘前の3市に310室確保し、当地域は、上十三保健所が調整し八戸市の施設を利用することとなります。

議員 今後、PCR検査を拡充する計画は。

健康福祉部長 上十三保健所管内の行政検査体制が整っている状況にあり、現在の体制を継続して実施していきたいと考えています。

議員 今、かかりつけ医の紹介があれば検査を受けられるのか。

健康福祉部長 感染の

可能性がある場合には受けられる体制です。

議員 焼山地区の光ファイバーの整備完了時期と利用開始時期は。

市長 整備事業者からの確認によると、現在は通信局施設への装置の設置や光ケーブル敷設作業を行っており、今年度中の整備完了を予定しています。そして、来年の4月から各家庭の回線引込み工事の申込みを開始し、必要な手続を経て利用できるようになると思います。

議員 全小中学校のトイレに生理用品を無料で設置する考えは。

議員 全小中学校の

料で設置する考えは。



小中学校女子トイレ個室の掲示メッセージ

教育長 これまでも急に必要となった児童生徒へ、保健室で健康観察をしながら手渡しで提供してきました。今後もトイレに設置するのではなく、女子トイレの個室に保健室での無料配布のメッセージを掲示し、児童生徒の心に寄り添いながら受け取りやすい環境づくりに努めていきます。

療育が必要とされる幼児数の推移は

年々増加傾向にある



櫻田 百合子
(市民連合クラブ)

議員 療育が必要とされる幼児数の推移は、

※障害のある子供の発達を促し、自立して生活できるように援助すること

健康福祉部長 左表のとおり(単位:人)

年度区分	H30	R元	R2
①	8	9	13
②	49	54	70

注①愛護手帳の所有者
②言葉や精神面に支援が必要な幼児発達支援事業の利用者

議員 療育施設での支援内容は。

健康福祉部長 市内の2つの児童発達支援事業所では、日常生活の基本的動作や知識技能の指導、集団生活への適応訓練等の必要な支援が行われています。

議員 早期療育に取り組む考えは。

健康福祉部長 乳幼児健診や5歳児セルフチェックに加え、今後は3歳児健診で「4歳の頃の発達」を紙面で渡し、4歳半頃に返信してもらいながら、早期支援につながるよう支援体制を整えていきます。

議員 専任の幼児教育アドバイザーを配置する考えは。

健康福祉部長 第2期子ども・子育て支援事業計画で、配置等に努めるとしているため、引き続き調査研究したと考えています。

議員 軽度障害の子どもを預かるふれあい保育事業を担う加配保育士に、保育支援員等でも対応できるように要件を緩和する考えは。

健康福祉部長 国の通知で保育士とされているため、今のところは考えていません。

議員 中央病院の入院・外来にWi-Fiを整備する考えは。

病院事務局長 各病棟の一部個室と共用スペースに整備されており、これ以上の整備は今のところ考えていません。



病院利用者のためWi-Fi整備の範囲拡大を